

問1 近年の地球温暖化にともなう気候変動が、日本の果樹栽培に与えている影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年

静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 化学肥料の普及にともなう土壌の変化が大きな影響を与えており、冷涼な気候を好む作物の生産が九州地方などの温暖な地域で増加している。 | 2. 地球全体の気温上昇により、それまで寒冷で栽培が困難だった地域が、より高い気温を好む作物の栽培適地へと変化し、産地が北上している。 | 3. 全国的な降水量の減少が主な要因となり、リンゴやももなどの果樹栽培において土壌の乾燥が進んだため、栽培面積が大幅に縮小している。 | 4. 交通網の整備が進んだことで、気候条件に関わらず消費地に近い場所で作物を栽培する近郊農業が、日本の全域で果樹栽培の主流となった。 |
|---|---|--|--|

問2 日本の米収穫量上位5道県（北海道、新潟、山形、秋田、茨城）の統計において、農業産出額全体に占める米の産出額の割合が約64.1%と最も高い東北地方の県と、その割合が約23.5%で北海道の次に低い関東地方の県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 秋田県と茨城県 | 2. 新潟県と茨城県 | 3. 新潟県と山形県 | 4. 秋田県と山形県 |
|------------|------------|------------|------------|

問3 日本の農作業において、遠隔操作や自動走行ができる機材、またはAIを用いた技術の導入が急速に求められている主な理由として、最も適切なものはどれか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. すべての農地を工業用地へ転用し、都市部でのビル内農業に限定させるため。 | 2. 化学肥料や農薬の使用量を大幅に増やし、短期間で集中的に大量収穫を行うため。 | 3. 食料自給率が過剰となったため、作物を安価で大量に海外へ輸出できるようにするため。 | 4. 農業就業者の高齢化や労働力不足が進む中で、農作業の効率化や作業者の負担軽減を図るため。 |
|--|--|---|--|

問4 日本の製造業における大企業と中小企業の比率を示した統計において、中小企業（従業者299人以下）が全体の約99%を占め、大企業（従業者300人以上）がわずか1%程度にとどまっている項目はどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 従業者数 | 2. 輸出総額 | 3. 事業所数 | 4. 工業製品出荷額 |
|---------|---------|---------|------------|

問5 千葉県や三重県、岡山県などの太平洋ベルトに属する主要な港湾周辺では、原油を精製する製油所と、そこから得られるナフサを原料とする複数の工場がパイプラインなどで結ばれた生産拠点が形成されています。この拠点の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 青森県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|-----------|----------|---------------|
| 1. 先端技術産業集積地 | 2. 内陸工業団地 | 3. エコタウン | 4. 石油化学コンビナート |
|--------------|-----------|----------|---------------|

問6 日本の主要な火力発電所の分布を示した資料では、その多くが太平洋や瀬戸内海、日本海などの海岸線沿いに位置しており、内陸部にはほとんど存在しないことがわかります。このように、日本の火力発電所が「臨海部」に多く建設されている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 石炭や液化天然ガス（LNG）などの燃料の多くを海外からの輸入に頼っており、大型船による輸送の利便性を考慮しているため。 | 2. 電気を消費する大都市から遠く離れた場所に建設することで、送電効率を高めて電圧の低下を防ぐため。 | 3. 発電時に発生する二酸化炭素を、海中に設置した特殊なフィルターを通じて直接吸収させる仕組みを導入しているため。 | 4. 日本の沿岸部には大規模な油田や炭田が集中しており、原料の調達にかかる輸送コストを最小限に抑えるため。 |
|--|--|---|---|

問7 日本最大の製造品出荷額を誇る中京工業地帯について、その工業出荷額の内訳を示した統計上の特徴として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 古くからの繊維工業が現在も盛んで、軽工業の出荷額が重化学工業を上回っている。 | 2. 鉄鋼業を中心とする金属工業の割合が最も高く、全体の約半分を占めている。 | 3. 機械工業が約七割という圧倒的な割合を占め、金属や化学を大きく引き離している。 | 4. 化学工業の割合が全国で最も高く、石油化学コンビナートによる生産が中心となっている。 |
|---|--|---|--|

問8 日本の鉱産資源の輸入状況について、原油の輸入割合において上位2か国を占めている中東の国の組み合わせとして正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------|-----------------|-----------------|-------------------|
| 1. サウジアラビアとアラブ首長国連邦 | 2. カタールとサウジアラビア | 3. オーストラリアとブラジル | 4. オーストラリアとインドネシア |
|---------------------|-----------------|-----------------|-------------------|

問9 1960年代以降に建設された千里ニュータウンなどの大規模住宅地では、開発当初と比較して住民の構成が大きく変化しています。1980年頃には年少人口が多かったのに対し、2020年には高齢者率が30%を超え、年少人口が大幅に減少している状況において、コミュニティを維持するために求められている取り組みとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 高齢者が安心して暮らせるよう住宅のバリアフリー化を進めるとともに、多世代交流を促すイベントを開催する | 2. 産業の空洞化が課題となっているため、住宅地をすべて取り壊して最新の工業団地へと再開発を行う | 3. 若年層の人口が急増しているため、小学校や中学校の新設を最優先で行い、大規模な工場誘致を進める | 4. 高齢者の増加を抑えるため、入居できる年齢に上限を設け、単身の若年層のみを対象とした高層マンションを建設する |
|---|--|---|--|

問10 日本の農業において、九州地方などの温暖な地域で「二毛作」が行われてきた主な目的として、最も適切な背景はどれかを選びなさい。 (2021年

長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 化学肥料の使用量を減らし、土壌の養分を自然に回復させるため | 2. 限られた耕地を1年を通じて有効に活用し、土地の生産性を高めるため | 3. 冬の積雪による農作業の停滞を防ぎ、労働力を分散させるため | 4. 同じ作物を繰り返し栽培することで発生する連作障害を防ぐため |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|

問11 2018年の日本の米輸入に関する状況について述べた文として、統計的な事実と一致するものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--|---|
| 1. 特定の国に偏ることなく、世界各地から均等な割合で輸入されている。 | 2. 中国からの輸入割合が最も高く、アメリカを大きく上回っている。 | 3. ベトナムやオーストラリアが、タイに代わって第2位の輸入相手国となっている。 | 4. アメリカとタイの2カ国からの輸入だけで、輸入総量の8割以上を占めている。 |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--|---|

問12 水産資源を守るための取り組みを説明した次の文のうち、栽培漁業の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 海の一部を網などで仕切り、卵から成魚になるまで一貫して人の手で餌を与えて育てる。 | 2. 排他的経済水域の外にある公海へ向かい、大型の漁船を使って数ヶ月かけて漁を行う。 | 3. 産卵期の魚を獲ることを禁止したり、網の目を大きくして小さい魚を逃がしたりして資源を管理する。 | 4. 卵からかえったばかりの稚魚を、外敵に襲われにくい環境で育ててから放流し、生存率を高める。 |
|---|--|---|---|

問13 日本の食料自給率に関する統計において、生産量が約200千トンであるのに対し、輸入量が約2,762千トンに達し、国内自給率が約7%にとどまっている農作物はどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------|------|-------|
| 1. キャベツ | 2. 小麦 | 3. 米 | 4. 大豆 |
|---------|-------|------|-------|